**窃盗容疑で２人逮捕…報道見て出頭**

全国１７都府県のコンビニエンスストアの現金自動受払機（ＡＴＭ）で偽造クレジットカードにより総額約１８億６０００万円が不正に引き出された事件で、神奈川県警国際捜査課などは１１日、いずれも引き出し役（出し子）とみられる同県藤沢市円行２、通信機器販売会社社長、辻村賢司（２９）と横浜市戸塚区上柏尾町、無職、佐久間宇宏（３０）の両容疑者を窃盗容疑で逮捕した。

　逮捕容疑は５月１５日午前５時５０分〜同７時ごろ、偽造カードを使い、辻村容疑者は同県大和市のコンビニで現金計１９０万円を、佐久間容疑者は横浜市戸塚区のコンビニで現金計５０万円を引き出したとしている。２人は容疑を認めているという。

　県警によると、２人は９日深夜、県警厚木署に出頭し「（報道などで）事件の全容を知って怖くなった。反省している」などと説明したという。辻村容疑者は調べに「５０万円の報酬で１０００万円を引き出した」と供述しているとされ、県警は指示役などについて調べている。

　県警によると神奈川県内では、最多の東京都に次ぐ規模の３５２店舗４億２８２７万円の被害が判明している。【村上尊一】